

家庭でも使えるお洗濯ガイド

洗濯手順 洗濯を始める前に洗濯物の取扱い絵表示や取扱い注意点をご確認ください。
 ①種類を確認→②素材を確認→③ポケットの中を確認→④ファスナーやボタンを閉める→⑤必要なものを洗濯ネットに入れる→⑥洗濯しましょう

洗濯ネット活用法 ●汚れが目立つものは目の粗い大きめのネットに入れましょう ●デリケートな衣類はきれいにたたんで少しきついくらいに入れましょう
 ●色柄物は同系列でまとめて入れると色移りが防止できます

洗濯機で洗濯できないもの
 スーツ・ネクタイなど型崩れするもの 防水製品 和装・和装小物製品 ゴム・ビニル製品 コーティング加工・エンボス加工した製品 ちりめんなど強燃系製品

乾燥機で乾燥できないもの
 ポリ塩化ビニル（PVC）製品 ウール・カシミアなどの獣毛製品 のりつけしたもの タンブラー乾燥禁止のもの

洗濯物の種類による分類	洗濯のポイント	家庭でのお洗濯		アビ洗衣館での洗濯		
		洗濯機	乾燥機	コインランドリー		洗濯代行
				洗濯機	乾燥機	
一般衣類（シャツ・ズボンなど）	色ものは分けましょう	◎	◎	◎	◎	◎
ハンカチ・タオルなど	色ものは分けましょう	◎	◎	◎	◎	◎
肌着など薄手素材の衣類	洗濯ネットに入れましょう	◎	◎	◎	◎	◎
Yシャツ	形態安定なら水洗いできます	○	○	○	○	○アイロンなし
セーター	素材を確認	○手洗い	×	△	×	×
スーツ・学生服	水洗いできません	×	×	×	×	×
ダウンジャケット	十分乾燥させてください	×	×	○	○	△
毛布	大型機がおすすめ	△	×	◎	◎	◎
布団類	キルティングしてあれば可能	×	×	△	△	△
カーテン	織物は縮みます	○	△	○	△	×
ジュータン・カーペット	裏ゴム付きは破損の恐れあり	×	×	△裏ゴム不可	△裏ゴム不可	×
クッション・ぬいぐるみ	中綿がかたよります	△	△	△	△	×

- ※ 羽毛製品は、羽毛に水が残ると臭いの原因になりますので、十分に（概ね60分以上）乾燥し、その日は押入れにしまわず放置してください。
- ※ 羽毛製品（ダウンジャケット・布団類）は、キルティングの状態によっては、羽毛が偏る場合があります。
- ※ カーテンは日焼け等により見た目以上に生地が傷んでいることがあり、洗濯により生地が破損する恐れがあります。

洗濯物の素材による分類	注意点	家庭でのお洗濯		アビ洗衣館での洗濯		
		洗濯機	乾燥機	コインランドリー		洗濯代行
				洗濯機	乾燥機	
ポリエステル・アクリル・ナイロン		◎	◎	◎	◎	◎
綿	縮む	◎	◎	◎	◎	◎
麻	シワ・色落ち	○	○	○	○	○
ウール	摩擦で縮む・中性洗剤	○手洗い	×	×	×	×
カシミア・アンゴラ	摩擦で縮む	△手洗い	×	×	×	×
ポリウレタン	縮む	△手洗い	×	×	×	×
絹・真綿	摩擦に弱い・黄変	×	×	×	×	×
レーヨン・キュプラ	水に弱い・縮む	×	×	×	×	×
ダウン・フェザー	乾燥不足で臭いが出る	×	×	○	○	△
ポリ塩化ビニル（PVC）	熱に弱い	○	×	○	×	×
合成皮革・本革・毛皮		×	×	×	×	×

汚れによる分類	例	水洗い	ドライ	シミ抜き
水溶性	コーヒー・汗	◎	△	◎
油性	皮脂・口紅・チョコレート	△	◎	◎
不溶性	泥・墨汁・鉛筆	△	△	◎
科学的手段を要する汚れ	鉄さび・長時間経過した血液・カビ・ガム・ボールペン	×	×	◎

※ アビ洗衣館では、ドライ、シミ抜きは行っていません。